

若者たちの祭典「第16回国際音楽祭ヤング・プラハ」成功裏に終了！

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
代表 中島良史

両肩には貸与されたストラディヴァリウスと自分の愛器、2つのヴァイオリンをいとおしく背負ってプラハ城への急坂を上る健気な少女。あこがれのプラハを一望するパノラマに、ヴィート教会、黄金の小道 etc... 見るもの全てに感嘆していたあどけない15歳の彼女は、その数日後ドヴォジャークホールのステージに立ち、いつ止むとも知らないアンコールの拍手に満面の笑顔で答えていた。2001年、創立10周年のヤング・プラハ ファイナルコンサート。ドヴォジャークの協奏曲（共演プラハフィル）は自国の音楽には注文の多いプラハの聴衆の度肝を抜くスゴイ演奏。そして呼び起こした感動の嵐！そんな素晴らしいヨーロッパデビュー飾った少女こそ...！

先頃チャイコフスキーコンクール、ヴァイオリン部門で優勝の快挙を成し遂げた神尾真由子さん！6年前のヤング・プラハでのキャリアが彼女をより大きく飛躍させたに違いない。彼女同様、世界各国からヤング・プラハに参加した沢山の若者たちが、世界の檯舞台で活躍しています。若者たちの夢を叶えるべく、ヤング・プラハの継続に努力している私たちスタッフに、あらためてこ

の事業の意義を確認させ幸せにさせてくれた、受賞のニュースでした。

今年も沢山の皆様のご努力、スポンサー企業のご支援、さらには文化庁のご支援もいただき、滞りなくヤング・プラハが開催されました。6カ国から若者たちが集い、夏の終わりのプラハとチェコ各地で熱い競演をくり広げました。日本からも期待の若者4名が参加（略歴ご参照）、その熱演にプラハの聴衆は最大級の拍手で応えました。詳しくは以下のページでご報告いたしますが、音楽の都・プラハで、素晴らしいホールで全身全霊を傾けた演奏をし、音楽を心から愛する聴衆から忌憚のない反応を得る。この経験は彼らの心の奥深く残り、演奏家としてなくてはならない何かを掴み取ったことでしょう。

全てが終わったレセプションでの晴ればれとした若者たちの顔が忘れられません。

皆様も来年のヤング・プラハには是非お出かけ下さい。実行委員会では鑑賞ツアーなどの計画も検討したいと思います。



2007 年 本祭

2007 年の国際音楽祭ヤング・プラハは、8 月 25 日～9 月 11 日まで開催されました。出演者は日本をはじめ、チェコ、ロシア、ハンガリー、フランス、スイス、6 カ国から招待されました。今年は初めての試みとしてジャズ楽曲の演奏会も企画いたしました。音楽祭のジャンルを広げていきたいという試みです。また、今年からヤング・プラハの開催時期を 10 日ほど遅らせ、9 月初めとしました。バケーションが明け、住民が戻り、音楽シーズンが始まる、その先頭を飾ろうという狙いでしたが、効果は明らかで、各会場ともほぼ満員の聴衆で埋まりました。ヤング・プラハの認知度をさらに高めることとなったようです。

皮切りはヤング・プラハ室内アンサンブルの演奏会、プラハ 2 カ所とスルプスカー カメニツェで開かれました。プラハでは有名なバルトシュタイン宮殿とモーツァルトが滞在し、作曲や仲間との団欒に使われていたベルトラムカ荘で屋外コンサート。場所に相応しく、モーツァルト、シュトラウス、ドボルジャークのセレナーデを演奏しました。段々と暮れ行く夕暮れのなか、小鳥のさえずりが音を添え、優雅なひとときでした。



9 月 4 日は国立銀行ホールで、いよいよオープニングコンサート。会場は満員となり、出だし好調。まさか、トランペットを吹くなんて!と思わせるような、小柄な田中泰子さんの柔らかで余裕のある、今までのトランペットの印象を一変させる心地良い演奏には、聴衆から熱い拍手が送られました。次はチェロの野田悠子さん。4 歳からスイスに住んでいて日本語よりもフランス語が得意という国際人。「うふふ」と笑う表情にスケールの大きな人柄を感じさせる。彼女はチャイコフスキーの ロココ風変奏曲を奏でてくれました。

続いて、チェコ若手ナンバーワンのヴァイオリニスト、ヴォディチカさんの会場を圧巻させる演奏に、聴衆から万雷の拍手。終演後、公務でお忙しい中をおして来場してくださった在チェコ日本国大使ご夫妻やお客様が満足気なお顔でお帰りになるのを見て、まずは実行委員一同一安心、と同時に今年の音楽祭の手応えを感じた次第です。

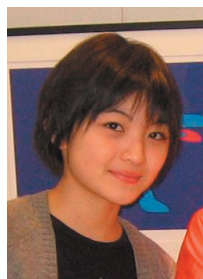
9 月 7 日、プラハ・ワルトシュタイン宮殿での演奏会も、ほぼ満員の聴衆に恵まれました。まだあどけなさの残る可愛らしい 15 歳のピアニスト、吉本ルイ子さん。30 分のプログラムを一回もステージから下がることなくしに全曲演奏

今年の日本実行委員会からの推薦出演者



黒川 侑 (くろかわゆう)、ヴァイオリン 1990 年生まれ。5 才よりヴァイオリンを始める。2001 年第 55 回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国大会第 1 位。2002 年第 12 回日本クラシック音楽コンクール中学校の部全国大会第 1 位。2003 年倉敷市芸術文化奨励章、第 3 回岡山芸術文化賞グランプリを最年少で授与される。同年、第 10 回 ドイツ国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第 2 位、最優秀バッハ賞。受賞記念ガラコンサートの演奏

を「13 才にしてしっかりとテクニックを自由に使いこなした彼は、ガラコンサートでの演奏で注目すべき音楽的才能を見せ、我々はその小さな演奏家の音色にうっとりとした」と地元紙で評される。2006 年第 75 回日本音楽コンクール第 1 位及び岩谷賞 (聴衆賞)、併せて、レウカディア賞・鷲見賞・黒柳賞受賞。これまでに京都市交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団などと協演。



吉本ルイ子 (よしもとるいこ)、ピアノ 1992 年ニューヨーク・ブルックリン生まれ。5 歳より公立スペシャルミュージックスクールに入学。ゴルダ・ウェインバーグ・タッツ先生のもと、ピアノを始める。8 歳のとき初めて参加した、ギリシャ コンツェルトウム 国際ピアノコンペティションでゴールドメダル受賞。9 歳、ニューヨーク コンサートアライアンス主催のコンペティションで優秀賞。ニュージャージーヤングピアニストコンペティション

で 1 位、全ソロカテゴリーにおいて銅賞。10 歳、シンシナティ国際ピアノコンペティションゴールドメダル、グランドプライズ受賞。11 歳、ブルックリン芸術協会主催のコンペティションで 1 位。12 歳、ニュージャージーコンチェルトコンペティションで銅賞、プレインフィールドオーケストラと共演。翌年ミュージックスクール主催のコンチェルトコンペティションで優秀賞、マーキンコンサートホールでオーケストラと共演。昨年夏参加したプイグチエルダ音楽キャンプのコンペティションでは 2 位の成績を収める。これまでにニューヨークワイルリサイタルホール、スタインウェイホール、国連コンサートホールなどで数々のコンサートの経験を積む。

し続け、満場の聴衆の求めに応え、アンコール。続いて、チェコのヴァイオリンとチェロのデュオ・ユネクさんとヴォカーチさんは会場入りしたのは開演前でリハーサルなしだったにもかかわらず、呼吸びったりの素晴らしい演奏でこの日も会場は満足、笑顔で一杯でした。

計5ヶ所で開かれた地方での公演には、演奏者、皆さんで7人乗りのミニバスで移動し、プラハへは深夜に戻って来るというハードスケジュール。にもかかわらず、エネルギーにスケジュールをこなして下さいました。スメタナの生まれ故郷、リトミシュルでは市の御好意で、世界文化遺産のリトミシュル城内の世界に5つしかないバロック劇場を使わせていただき、市長や街の関係者も来ていただきました。プラハからも、ブルノからも、お客様がいっぱやり、演奏の終了後、演者も遠征のお客様も連れ立って、近くのノベ・フラディ城に移り、城主の御好意で、お城のダイニングルームでお茶とお菓子をいただき、レストランで名物、石焼ステーキを頬張り、思い出に残るひとときを過ごしました。

9月11日、最終日、ルドルフィヌム・ドヴォジャークホールでのファイナルコンサートは、開場と同時に続々とお客様が・・・!! まずは吉本ルイ子さんのベートーヴェンピアノ協奏曲第1番。ステージに現れた彼女があまりにも可愛らしく、おそらく観客は、演奏はいい・・・?!と興味津々だったとことでしょう。落ち着き払って堂々とした態度で演奏が終わり拍手喝采。そして次は日本若手代表、黒川侑さんのメンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲。彼もステージに現れたときは、チェコの人達には子供のように見えた



かもしれませんが、いざヴァイオリンを構え演奏を始めると、皆一瞬にして彼の音楽の中に引き込まれていきました。終わった瞬間、会場からはブラヴォ!の声があちこちから沸きあがり、大喝采!第2部はチェコ、スイス、フランスからの出演者による、モーツァルト・シンフォニア・コンチェルタンテ。前日だけのリハーサルにもかかわらず、息がぴったり合った4人のソリストにこれも大喝采!熱気に溢れたファイナルコンサートが終わり、今年の国際音楽祭ヤング・プラハは成功裏に幕を閉じることが出来ました。

演奏の質もちろんですが、今年は聴衆にも大変恵まれ、これで来年はもっと沢山の方々にいらしていただけるのではないかと?という手ごたえがある音楽祭になりました。出演者同士、皆さんも、とても仲良く、雰囲気よく音楽祭を進めることが出来ました。自由時間には一緒にレストランで楽しく歓談やプラハ散策もしていただくことができたようで、同じ道を目指す若者たちが、考えや思いを交わし、演奏会以外にも有意義な時間を過ごしていただけたのではないかと、実行委員一同嬉しく思っています。

ファイナルコンサート後のレセプション会場には、国際音楽祭ヤング・プラハ会長の、巨匠、ヨゼフ・スークさんも御高齢にもかかわらず、最後までいっしょに、これから船出する若い演奏家を抱きかかえ、嬉しそうに話しておられました。彼らにとっては一生の思い出となることでしょう。スポンサー企業の方々からは熱い言葉を数多くいただき、委員一同大変励みになりました。これから来年、更には20周年目指して頑張っていきたいと思います。ご協力いただいた皆さまには心よりお礼申し上げます。



野田悠子 (のだゆうこ)、チェロ
福岡県出身。1999年にスイス州立シオン音楽院卒業、スイスシオン音楽アカデミーにてディプロマを取得した。1999年スイス青少年音楽コンクールチェロ部門第1位優勝。2004年パリ・ヴァトロ＝ランバル国際コンクールチェロ部門で審査員満場一致の第1位。第4回泉の森ジュニアチェロコンクール第1位金賞。2005年、九州サマー・フェスティバルにおいて円光寺雅彦指揮の九州交響楽団とガルベールのチェロ協奏曲を共演。第26回霧島国際音楽祭「若い音楽家たちのコンサート」に出演、サントリー賞受賞。2006年第7回ビバホールチェロコンクール第2位。



田中泰子 (たなかかやすこ)、トランペット
1984年秋田県生まれ。9歳の時よりブラスバンドクラブでトランペットを始める。2003年、秋田県立大館鳳鳴高等学校卒業後チェコへ渡り、プラハ音楽院にてミロスラフ・ケイマル氏に師事。現在同楽院本課生。2006年、2007年、スペイン・ベニドルムにてモリス・アンドレーのマスタークラス受講。2006年11月、チェコ・オストラヴァで開催された、第30回チェコ全国音楽院生による管楽器コンクール、トランペット部門総合第1位受賞。

2007年2月スペイン・ベニドルムにおいて開催された、第9回“Villa de Benidorm”国際コンクール第2位。

第 16 回 国際音楽祭 ヤング・プラハ 公演内容

< プラハでのコンサート >

- 8月26日(日)16:30 ワルトシュタイン宮殿 庭園
出演 ヤング・プラハ室内アンサンブル
W.A. モーツァルト セレナーデ 変ホ長調
R. シュトラウス セレナーデ 変ホ長調
A. ドヴォジャーク セレナーデ ニ短調
- 8月27日(月)19:00 ベルトラムカ荘 庭園
出演 ヤング・プラハ室内アンサンブル
曲目 8月26日と同じ
- 9月4日(火)19:00 国立銀行ホール
出演 田中 泰子 (JP) トランペット (チェコ在住)
J.N. フンメル トランペット協奏曲 変ホ長調
野田 悠子 (JP) チェロ (ドイツ在住)
P.I. チャイコフスキー ロココ風変奏曲
Jiří Vodička (CZ) ヴァイオリン
C.S. サンサーンス 序奏とロンドカプリチオーソ
Attila Szabad(H) 指揮
P.de サラサーテ カルメン幻想曲
プラハ交響楽団室内オーケストラ
- 9月5日(水)17:00 アリア ホテル
出演 Libor Šmoldas Quartet (CZ) ジャズのタベ
- 9月7日(金)19:00 ワルトシュタイン宮殿ホール
出演 吉本 ルイ子 (JP) ピアノ (アメリカ在住)
スカルラッティ ソナタ他
Jakub Junek(CZ) ヴァイオリン & Ivan Vokač(CZ) チェロ
K. シュターミッツ 2重奏 ヘ長調他
- 9月11日(火)19:00 ルドルフィヌム ドヴォジャークホール
出演 黒川 侑 (JP) ヴァイオリン
F. メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調
吉本 ルイ子 (JP) ピアノ
L.V. ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第一番 ハ長調
Lorenz Lüönd (CH) クラリネット
W.A. モーツァルト オーボエ、クラリネット、ホルン、
Jiří Sejkora(CZ) オーボエ
ファゴットとオーケストラの為の交響協奏曲 変ホ長調
Jana Řeřichová(CZ) ホルン
Julien Hardy(F) ファゴット
Marko Ivanović(CZ) 指揮
プラハ交響楽団室内オーケストラ
- < プラハ以外でのコンサート >
8月25日(土)16:00 スルプスカカメニツェ - St. Wenceslao Church
出演 ヤング・プラハ室内アンサンブル
W.A. モーツァルト セレナーデ 変ホ長調
R. シュトラウス セレナーデ 変ホ長調
A. ドヴォジャーク セレナーデ ニ短調

9月3日(月)19:00 テプリツェ - St. Jan Křtitel Church
出演 田中 泰子 (JP) トランペット
多 忠助 宵待ち草
Norbert Heller ピアノ
山田 耕作 赤とんぼ
O. ベーム トランペットとピアノの為の協奏曲 他
Jakub Junek(CZ) ヴァイオリン & Ivan Vokač(CZ)
チェロ K. シュターミッツ 2重奏 ヘ長調 他

9月3日(月)20:30 フランティシコヴィ・ラズニエ - Hotel Belveder
(Spa Hotel Belveder)

出演 黒川 侑 (JP) ヴァイオリン
E.A. イザイ 独奏ヴァイオリンの為のソナタ 3 番
Miroslav Sekera ピアノ
C. フランク ヴァイオリンとピアノの為のソナタイ長調
Vjaceslav Grohkovskij(RUS) ピアノ
W.A. モーツァルト ファンタジー ハ短調 KV.475
ソナタ ハ短調 KV.457
P.I. チャイコフスキー ドゥムカ Op.59 他

9月5日(水)19:00 バドシャンドウ - St. Johanniskirche (ドイツ)

出演 黒川 侑 (JP) ヴァイオリン
E.A. イザイ 独奏ヴァイオリンの為のソナタ 3 番
Miroslav Sekera ピアノ
C. フランク ヴァイオリンとピアノの為のソナタイ長調
Vjaceslav Grohkovskij(RUS) ピアノ
W.A. モーツァルト ファンタジー ハ短調 KV.475
ソナタ ハ短調 KV.457
P.I. チャイコフスキー ドゥムカ Op.59 他

9月5日(水)20:30 フランティシコヴィ・ラズニエ - Hotel Belveder

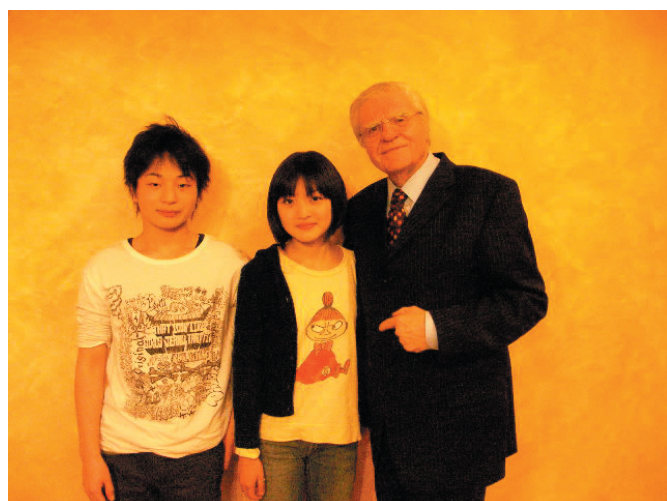
出演 田中 泰子 (JP) トランペット
多 忠助 宵待ち草
山田 耕作 赤とんぼ
O. ベーム トランペットとピアノの為の協奏曲 他
野田 悠子 (JP) チェロ
L.V. ベートーヴェン ピアノとチェロの為のソナタ 3 番
Norbert Heller ピアノ

9月6日(木)19:00 ブルゼニュー - Zapadoceske Muzeum

出演 黒川 侑 (JP) ヴァイオリン
E.A. イザイ 独奏ヴァイオリンの為のソナタ 3 番
Miroslav Sekera ピアノ
C. フランク ヴァイオリンとピアノの為のソナタイ長調
Vjaceslav Grohkovskij(RUS) ピアノ
W.A. モーツァルト ファンタジー ハ短調 KV.475
ソナタ ハ短調 KV.457
P.I. チャイコフスキー ドゥムカ Op.59 他

9月9日(日)16:00 リトミシュル - Castle theater

出演 田中 泰子 (JP) トランペット
多 忠助 宵待ち草
山田 耕作 赤とんぼ
O. ベーム トランペットとピアノの為の協奏曲 他
野田 悠子 (JP) チェロ
L.V. ベートーヴェン ピアノとチェロの為のソナタ 3 番
Norbert Heller ピアノ



駐日チェコ共和国大使館での

「国際音楽祭ヤング・プラハ特別記念コンサート&レセプション」のご案内

昨年大好評でした駐日チェコ共和国大使館での特別記念コンサート&レセプションが、今年も10月19日に開催されます。出演者にはチェコ・フィル首席フルート奏者ラドミール・ピヴォダ、プラハ交響楽団のソロピッコロ奏者スタニスラフ・フィンダ、今年のヤング・プラハにも出演の黒川 侑（ヴァイオリン）、昨年のヤング・プラハ出演者丸田悠太（フルート）、そしてピアノの渡辺久仁子を迎え、チェコの雰囲気たっぷりの演奏会をお届けいたします。

同封のご案内を参照の上、お申込はお早めをお願いいたします。

出演者プロフィール

ラドミール・ピヴォダ（フルート）

チェコ・ブルノ出身。ブルノ音楽院、ブラティスラヴァ（スロヴァキア）芸術大学、プラハ芸術アカデミー卒業。R. Povoda（父）、M. Jurkovič、F. Ječmínek の各氏に師事。

1979年よりチェコフィルハーモニー管弦楽団ソロピッコロ奏者を務め、1985年同オーケストラ首席フルート奏者となる。これまでに数々のコンクールに入賞。現在プラハ芸術アカデミーにて教鞭もっている。

スタニスラフ・フィンダ（ピッコロ、フルート）

チェコ・南モラヴィア地方出身。プラハ音楽院を経て、プラハ芸術アカデミー（HAMU）卒業。プラハ芸術アカデミー在学中に、プラハ国民劇場オーケストラソロピッコロ奏者になる。その翌年1978年には、プラハ交響楽団ソロピッコロ奏者に就任。オーケストラで演奏していく中で、理想のピッコロが見つからないことから自身で研究、製作を始める。この経験と研究から生まれたピッコロは、国内外で好評を得ている。現在、オーケストラ奏者として、またピッコロ製作者として、多忙な日々を送っている。

渡辺久仁子（ピアノ）

東京藝術大学ピアノ科卒業、新井精氏、岡部昌氏、米谷總子氏、伊達純各氏に師事。在学中P.B. スコダ氏、H.P. ロジェ氏の、また卒業後に北ドイツにてコンラート・ハンゼン各氏の薫陶を受ける。現在ソロ活動の他、室内楽、伴奏、録音、邦人作品の紹介等、幅広く活動を行っている。2005年イギリス、フランス、チェコにて室内楽演奏会に出演する。

黒川 侑（ヴァイオリン）

プロフィールは2ページをご参照ください。

丸田悠太（フルート）

新潟県出身1982年生まれ。フルートを8歳より始め榎本正一、浅利守宏、大友太郎、佐久間由美子の各氏に師事。これまでにダヴィデ・フォルミザーノ、エマニュエル・パユ、ポール＝エドモンド・デイヴィス、シリア・チェンバース、ロベール・ランジュ



黒川 侑（ヴァイオリン）

丸田悠太（フルート）

ヴァン、ウィリアム・ベネット、パウル・マイゼン、ヴォルフガング・シュルツ、クリスチャン・ラルデ各氏の公開レッスン・マスタークラスを受講。日欧文化協会主催、日欧文化協会フレッシュコンサート2002オーディション合格、同演奏会にて奨励賞受賞。室内楽を大友太郎、生島繁、武田忠善の各氏に師事。2004年国立音楽大学器楽科を首席で卒業、矢田部賞受賞。卒業演奏会に出演。宮内庁桃華楽堂新人演奏会にて皇后陛下の下、御膳演奏。新潟日報社主催 新潟県合同新人演奏会、読売新聞社主催 第74回読売新人演奏会、ヤマハ株式会社主催 ヤマハ管楽器新人演奏会、日本フルート協会主催 第31回フルートデビューリサイタル出演。ソロ、室内楽、オーケストラ、吹奏楽等幅広い演奏活動を展開。また、フルート以外にもバンドトレーナーとしても後進の指導にあたっている。現在、東京ニューシティ管弦楽団フルート奏者、国立音楽大学大学院音楽研究科3年在学中。ヤング・プラハ2006に出演。



❖ チェコ実行委員会からメッセージ ❖

大成功と言っても過言ではない第16回国際音楽祭<ヤング・プラハ>本祭が無事に終わりました。プラハに長年住んでいるにもかかわらず、実を言うと2年前まで<ヤング・プラハ>についてほとんど知らなかった私が、今この文章を書いているのは不思議な気がしていると同時に、今回の本祭の為の準備期間から、現在にかけての時間がごちゃ混ぜになって頭の中を回っています。今年、ソリストとして出演したトランペットの田中泰子さんが、2年前の本祭でアンサンブルのメンバーとして参加した際に、招待され聴きに行ってみたワルトシュタイン宮殿庭園での演奏会で、中島代表と運命的な?! 出会いがあったのがきっかけで、初めて<ヤング・プラハ>がどういうものなのかを知りました。そのご縁で昨年からチェコ側でお手伝いをする事になり、きっとそれまでの私のように<ヤング・プラハ>がどういう趣旨の音楽祭なのかを知らない人達がまだまだ沢山いるに違いないと思い、自分が思いつく限りの手段を使い、より多くの人達に広められたら・・・と努力してみたところ、昨年は一昨年前より、今年は昨年より更に多い観客に恵まれ、ほとんどの会場も満員の聴衆でした。もっと嬉しいことには、地元チェコの音楽家からも「こんな演奏会はプラハの春を始め、チェコのどこを探してもそうそう



聴けるものではない。素晴らしい音楽祭だ!」というメッセージをいただき、またスポンサー企業からも「こんなに素晴らしいチェコと日本双方が献身的に動いて実現している音楽祭に貢献出来てよかった。今後も<ヤング・プラハ>を盛り立てていきましょう!」という心強い言葉をいただけ、皆で一生懸命準備してきて本当に良かった・・・と終わってホッとしていると同時に、また来年に向けてのエネルギーが湧いてきました。チェコ側実行委員会でも、委員長チステツキー氏、そしてヘラー氏と私、日本側実行委員だけでもチェコでサポートしてくださる安東氏、それぞれで知らない間に役割分担が出来、一回も揉め事もなく準備を進めることが出来ました。この状態で来年は更にもっと多くの人達に<ヤング・プラハ>を広められ、より充実した音楽祭になるように、そしてチェコの人達が「えっ!あの<ヤング・プラハ>を知らない?!」と言うようになるまでの音楽祭にできれば・・・と、将来が楽しみになりました。出演者の皆さんもそれぞれが仲良くなり、雰囲気良く音楽祭を進めてこられたことも、現地実行委員として本当に有り難く、楽しいアっという間の開催期間でした。この紙面を借りまして、ご協力いただいた全員の方々に心よりお礼申し上げます。【チェコ実行委員会 フィンダ 志保子】



お知らせ

● 会員「ヤング・プラハ・フレンズ」ご入会のお願い

「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。これまでの実績により、2007年は文化庁の国際芸術交流支援事業にも認定されております。

国際音楽祭ヤング・プラハは実行委員のボランティアによって運営されています。ところが、昨今のチェコの物価高騰などにより運営資金を常に必要としています。円滑な音楽祭運営のため、ご支援をお願いいたします。

また、お知り合いの方々にもご入会をご案内いただきたく、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(入会お申込はホームページからでもできます。) ※毎年10月1日以降のご入金の際は、翌年の会費としてお受け付けいたします。

今年も皆様からのご支援のほどよろしくお願いいたします。

フレンズの種類	年会費
個人会員	—□ 10,000 円
家族会員 (個人会員のご家族)	—□ 5,000 円
法人会員	—□ 30,000 円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者、出演から5年間のみ)	3,000 円以上 但し、初年度無料

口座名義：国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
郵便振替口座 00100-7-615037
銀行振込口座 三菱東京 UFJ 銀行 浜松町支店
普通預金 4547275